

# 平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	通所型介護予防事業			会計	款	項	目	大	小
				08	03	01	01	02	01
政策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課					
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり	主管課長	早川 仁					

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	二次予防事業対象者把握 事業により把握した二次 予防事業対象者	意図	二次予防事業対し、適切なプログラムを実施することにより、要介護状態等になることを予防する。
事業内容	二次予防事業の対象者に、運動器の機能向上プログラム、栄養改善プログラム、口腔機能の向上プログラムを実施することにより、要介護状態等になることを予防し、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるよう支援する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成18年度に介護保険法の介護予防事業として事業を開始した。 平成23年度から、教室まで車での送迎があるコースと、教室まで自分で行く送迎なしの2コース実施している。 参加希望者が多数いるため、平成24年度より定員を増やしている。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	参加者数	114	168	166	人
②	対象者数	4,952	5,350	5,461	人	→→	事業対象者（平成25年度内訳：運動1,734人、口栄・2,681人、両方1,046人）
③	対象者のうち参加者の割合	2.30	3.10	3	%	→→	参加者/対象者
④	教室稼働率	87.60	88.40	87.30	%	→→	参加者/教室定員
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・市内スポーツクラブ等に送迎なしのコースを委託し、開催曜日・会場を増やし、参加の機会を増やした。 ・平成24年度から、各コース定員も増やし（運動 150人、歯・栄 40人）実施している。 ・参加施設の場所が偏り、参加者の利便性について考える必要がある。 ・一人あたりの参加コストが高く、委託内容の改善が必要である。
事務事業のコスト		平成23年度	平成24年度	平成25年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		15,922,432	19,694,466	16,201,667			
事業費(b)(円)		8,346,432	12,516,466	9,214,667			
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)		7,576,000	7,178,000	6,987,000			
人役・職員(人)		1.00	1.00	1.00			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H25)の改善計画	コスト削減に向けて、費用のかかる送迎ありの教室の見直しや契約方法の見直しを図る。	③取り組みの課題	参加希望者が多く、参加希望者をお断りせざるを得ない状況があり、より多くの希望者が参加出来るようコース設定及び効果的な教室の内容の検討が必要。
②今年度(H25)に実施した取り組み	送迎なしのコースを見直し、より希望者が参加しやすいようにした。	④今後の改善計画	運動機能向上、栄養改善口腔機能向上の2種の教室を実施しているが、運動と栄養口腔は密接に関わっているため、より高い効果を求めるためにも、複合コースが望ましいと国が見解を示しており、複合コースを含め、実施内容の改善する。